

# 生活科 1年

## 「がっこうだいすき がっこうたんけんをしよう」

磐田市立青城小学校 鈴木崇広

### 1 はじめに

本校の1年生は男子の割合が多く明るく元気で、自分の思いを表現できる子が多い。何事にも挑戦したり、やってみたいと思ったりする一方、自分の考えを強く主張しすぎて言い争いになったり、学習意欲が続かなかったりする子も見られる。

本単元では、初めに教師が先頭に立ちクラスごとに学校を探検し、次に2年生と一緒にペアを組み探検し、最後に1年生の小グループで探検するという3段階で活動を設定した。まず、学校にはどんな教室があるのか興味・関心をもたせることで、主体的に課題に取り組む姿を育みながら、自分の思いや考えを表現する力を養えると考えた。また、色々な幼稚園、保育園から本校に入学してきた子どもたちが混ざり合って最初に関わる大切な場面と考えた。グループ活動では友達と協同して学び合うことで、仲間意識や帰属意識を育み、友達と一緒に活動することの良さに気づき、共に生活や学習に取り組んでいこうとする力を養えるのではないかと考えた。以上の2点の姿を育てることで、子ども同士がつながりを持ち、学びの実感を味わえると考え、本単元を設定した。

### 2 「がっこうだいすき がっこうたんけんをしよう」の実践

#### (1) 探検の仕方

子どもたちが主体的に取り組むために、3段階の活動に分けて学校探検を行った。まず、教師が先頭に立ちクラスごとに学校内を回る活動をした。教室の配置や、特別な教室にはどんな物があるか興味をもてるようにした。授業の邪魔にならないように、廊下の歩き方を指導し、短時間で見てくるようにした。教室にもどり、どんなものを見つけたか共有した。児童の中からは、「お兄ちゃんの教室があった」「ピアノがある部屋があったよ」などたくさんの発見が聞かれた。

次に、2年生とペアになり学校を案内してもらった。2年生は「1階のリーダー」ということで1年生に教えてあげようという意欲が高い。1年生にとって2年生は身近な存在で、親しみをもって一緒に活動することができた。それぞれの教室には2年生手作りのポップがあり、「〇〇しつ」と書かれていた。教室を回るたびに、2年生がチェックしてくれたことが喜びにつながっていた。

最後は、1年生だけで2、3人のグループを作り学校探検に出掛けた。前時までの学習で、校内の教室を回り、大体どんなものがあったかをクラス全体で確認することができた。ただ、もっと見たいところや、本当にあったか確かめたいという思いがあり、「どんなものがあったか、詳しく見てこよう」と投げ掛けてから探検した。また、一番心に残ったものを振り返りシートに書くことを伝えた。ワークシートには、校内の地図と行った教室にはどんなものがあったかメモする欄と確認のスタンプを押すところを設けた。スタンプを沢山集めたいという思いもあって、意欲的に活動し、すべてのスタンプを集め、全教室を回ることができ、達成感を味わうことにつながった。振り返りを書き、クラスの子の前で発表することで、見つけたものを全員で共有することができた。

## (2) 学校生活の中で生きる力

学校探検を通して、2年生との関係を深めることができた。昼休みに「本を借りに行ってきます」と学校図書館に本を借りに行ったり、事務室にチョークをもらいに行ったりと、自分で行動できる範囲が増え自信をもって学校生活を送ることができるようになってきた。縦割りの掃除やグループ遊びの教室移動も、初めは6年生の迎えが必要であったが、だんだんと1年生だけで行けるようになった。

## 3 成果と課題

「がっこうだいすき がっこうたんけんをしよう」ということで活動内容を示し、3段階の活動計画で実施したことで、児童一人一人が自分自身の課題として直接的にかかわり、学習意欲の継続につながった。また、始めに学校探検の約束を全体で確認したことで、後の2回の活動でもそれを生かして探検することができた。

2年生とのペア活動、1年生でのグループ活動を設定したことで、相手を意識して活動に取り組むことができた。自分が見たいところを優先するのではなく、「僕が見たいところを見たら〇〇君の」というように相手を意識しながら、コミュニケーションを豊かなものにすることができた。また、集団の構成を3段階にしたことで子どもの思考を深め、新たな気付きを生むことにつながった。活動の見通しがもてたことで、積極的なかわりが生まれ、協同的な学びにつながったことが成果である。

課題は、活動場所が様々になるため一人一人の学びをどのようにして見取り、支援したことをどのように評価につなげていくかということである。発表の場で、友達の考えに共感したり良さに気付いたりした子を取り上げ、学級全体に子どもたちの気付きを広げていけばよかったと考える。

また、子どもたちに課題意識をもたせるために導入で学校クイズを出し、もっと知りたいという思いをもたせるなどの工夫ができればよかった。